

平成21年 4月30日現在

研究種目：基盤研究(B)
研究期間：2006～2009
課題番号：18390571
研究課題名(和文) 情報プライバシーの視点からの患者情報の収集と共有のあり方：尺度開発と全国調査
研究課題名(英文) Development of Patient Information Privacy Scale and Reexamination of Patient Information Sharing
研究代表者
太田 勝正 (OTA KATSUMASA)
名古屋大学・医学部(保健学科)・教授
研究者番号：60194156

研究分野：医歯薬学
科研費の分科・細目：看護学・基礎看護学
キーワード：情報プライバシー，患者情報，看護学，情報共有，倫理学

1. 研究計画の概要

本研究は、(1)入院患者が自分の個人情報についてプライバシーの観点からどのように認識しているかを測定する尺度を開発し、(2)その開発した尺度を用いた全国調査により、基準となる尺度の値(スコア)を示すこと、さらに(3)地域で暮らす住民の健康情報の保健師による共有についての問題を看護倫理の視点から明らかにし、(4)そのような問題に直面する保健師の情報共有における意思決定モデルを提示することを目的とする。

2. 研究の進捗状況

まず、(1)東海地区の200床以上の全病院を対象として、協力の得られた37病院の595名の患者と1,770名の看護師を対象とする郵送式自記式の調査票を用いたパイロットスタディーにより、患者が看護師にさまざまな情報を提供する際に、情報プライバシーの観点からどのように捉えているかの認識構造を明らかにした。因子構造は、治療関連情報、属性情報、日常生活関連情報および私生活関連情報の4つの共通因子からなり、全部で24項目の質問からなる「入院患者の情報プライバシー認識尺度」(PIPS)を開発した。(2)その尺度を用いて、精神科単科を除く全国200床以上の全病院から協力の得られた122病院の計6,141名の患者を対象とする郵送式自記式の調査票を用いた全国調査を実施した。因子ごとのPIPSスコア平均値は、価値観や家計の問題など5項目からなる私生活関連情報が6点満点の3.5点と最も小さく、患者のプライバシー意識がもっとも高い項目であることを示した。次いで、病名や検査結果など9項目の治療関連情報が4.0点、名前や生年

月日など6項目の属性情報が4.3点、睡眠習慣や食生活など4項目の日常生活行動関連情報が4.6点となり、プライバシー意識には情報の特徴による差があることが示された。ただし、因子ごとの合計得点には地域、性別、疾患の種類などによる差は特に見られず、今回の調査結果で得られたスコアが、今後の患者個人レベルのプライバシー意識の程度を見る上での基準となる可能性が示唆された。さらに現在は、(3)地域・在宅ケアにおける患者情報の保健師等との共有について、患者と保健師を対象とするインタビュー調査により、倫理上の問題点を明らかにし、その結果に基づく保健師による患者の情報共有における意思決定モデルを構築するためのデルファイ調査の準備を進めている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。
計画(3)のための難病患者らを対象とするインタビュー調査において、調査協力を依頼した患者の様態の急変などにより、調査対象の再リクルートなどのために、予定より時間を取ってしまったが、それ以外の研究については、おおむね順調に進展している。

4. 今後の研究の推進方策

研究最終年として、計画(4)の保健師の情報共有における意思決定モデル構築のためのデルファイ調査を進めると共に、計画(2)で得られた本邦初の全国調査の結果の詳細な解析と公表に努めたいと考えている。

なお、2009年6月のICN(国際看護学会)南アフリカ大会をはじめとする国際学会や国内の代表的な看護の学会で、本研究成果に

基づく演題が採択されており、口述発表を予定している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

- (1) 夏目美貴子, 太田勝正: 自己情報コントロール権に関する入院患者の認識についての調査, 医療情報学, 27(6):501-510, 2008 査読有
- (2) H. Iguchi and K. Ota: Development of Instrument to Measure Patient Perception of Information Privacy, Patients' Information Privacy Scale (PIPS), and the Conventional Privacy Checklist(CPC), Japan Journal of Medical Informatics 26(6):367-375, 2007 査読有

[学会発表] (計 14 件)

- (1) H. Iguchi, K. Ota: Comparison of Perceptions of Patients' Information Privacy in Dealing with Nurses in Japan, Medinfo2007 in Brisbane, 2007.8.23, Brisbane, Australia

[図書] (計 6 件)

- (1) 太田勝正: 第2章 看護情報学, 太田勝正, 猫田康 編: 看護情報学, 12-21, 医学書院, 2008
- (2) 太田勝正: 患者情報と守秘義務, 小西恵美子編, 看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ, 110-118, 南江堂, 2007

[その他]

- (1) 太田勝正: 患者情報とプライバシー, 平成 19 年度名古屋大学第 10 回公開講座, 野依記念館, 2007.9.20, 名古屋